

仙台教区サポートセンター

# 福島デスクニュース

第25号 2016年9月

作成：仙台教区サポートセンター福島デスク  
〒975-0001  
福島県南相馬市原町区大町 2-197  
fukushima.desk@gmail.com  
Tel/Fax 0244-32-1531  
080-5872-4447  
<http://fukushimadesk.blogspot.jp/>

## 音楽教育エル・システマ&相馬市 音楽を通して子どもに生きる力を



福島県沿岸部にある相馬市。人口約3万6千人の歴史ある町である。震災後、市内の全小学校（10校）と中学校2校の吹奏楽部では、エル・システマ式プログラムを取り入れ、バイオリンやコーラスを学び、「相馬子どもオーケストラ」を結成した。

エル・システマの活動に対しては毎年外部評価が行われているが、「友人や保護者とコミュニケーションをとる機会が多い」、「自分が住んでいる地域に満足している」割合が全国平均に比べて高い。原発事故後の福島での活動として成果が現れている。

教育プログラム「エル・システマ」は41年前、南米ベネズエラで始まった。家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもが無償で集団での音楽教育が受けられる。協調性や規律を学び、目標に取り組む姿勢を育みながら、希望や誇りを持つことを目的としている。また、犯罪や暴力から子どもを守ることもつながっており、現在は世界60以上の国や地域でそれぞれの文化的背景やニーズに合わせた形で実践されている。

日本では東日本大震災の翌年、2012年3月、ベルリンフィル楽団員の「被災地でこそエル・システマを」の提案等を受けてエル・システマジャパンが設立され、被災地での子ども支援が始まった。同年4月、相馬市立中村第一小学校器楽部へ



バイオリン専門家が派遣された。中村一小の器楽部は60年もの歴史のある弦楽合奏クラブで、コンクールでは日本一になったこともある伝統校である。しかし、専門の指導者がおらず、楽器の状態が悪くなっていたところに被災し、さらに厳しい状況にたたされていた。エル・システマジャパンの活動は、学校のクラブ活動支援を切り口に、地元の人々の誇りを取り戻す、という日本独自の形をとった。

エル・システマの大切にしていることは、「誰でも無償で参加できること」、「共奏によって高い芸術性を追求すること」、「ピアラーニング（子ども同士が互いに教え合い、学び合う）を通して連帯感、チームワークを育む



2016年ドイツ公演。ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて

こと」、「子どもの居場所を作ること」、「子ども→親→地域社会を通してコミュニティを再建すること」である。始まりは中村一小だったが、翌2013年からは相馬市の全小学生を対象に週末弦楽器教室が開始され、2015年には、「第1回エル・システマ子ども音楽祭」が相馬市との共催で、2013年秋に再建された相馬市民会館大ホールで開かれた。

この「民設公営」スタイルは2012年5月、相馬市とエル・システマで結ばれた協力協定によって確かなものになった。地域主体（行政のオーナーシップ）となり、持続可能な運営ができあがった。小さな民間団体ではなく、地域住民主体の活動だからこそ理解が広まりやすい。そして、教室に通う子どもや保護者だけでなく、活動にかかわる大人たちやコンサートに訪れた人をも元気にし、生きる力を与える活動へと進化しつつある。

南相馬市小高区でバイオリン教室を開いていた先生（右写真）は、相馬市に避難中にエル・システマに出会った。週末弦楽器教室と相馬子どもオーケストラでバイオリン指導を受け持ち「第二の人生。もうひと頑張り、子どものためにできる、という生きがい。今は通常の1.3倍頑張っている」、楽器修繕支援の楽器店店主は「ずっと楽器屋をやってきました、最後にこういう仕事ができたとするのは、私にとって最高ですね」と語る。オーケストラ用に編曲された「相馬盆歌」を聞いた住民は、「相馬の宝、東北の宝」、「太鼓の継承者ができて嬉しい」と喜ぶ。



2016年3月にはドイツ公演が実現した。ベルリンフィル、聖トマス教会、ベルリン日独センターでは、震災後の支援に対する感謝を述べ、真剣に演奏に取り組む姿で「福島元気の元」を伝えることができた。ドイツからの助言や寄付等は今も続けられている。



([https://www.youtube.com/watch?v=jD\\_EGXiRi3Q](https://www.youtube.com/watch?v=jD_EGXiRi3Q) ドイツ公演ツアー2016年3月8日～15日)

「相馬子どもオーケストラ&コーラス」の支援には、弦楽器指導ボランティア（\*1）、分数楽器の寄付（\*2）、相馬市ふるさと納税での寄付等がある。詳しくは、エル・システマジャパンや相馬市のホームページを参照していただきたい。

- \*1 弦楽器指導ボランティア。左写真のボランティアは社会人。東京から相馬市の週末弦楽器教室に通う。
- \*2 分数楽器とは子ども用サイズの楽器のこと。1/16、1/8、1/4、1/2 のバイオリンとチェロが不足。中古楽器の寄付を希望。  
(写真はエル・システマジャパンHPより。掲載許可済)